



にし た さ ん 西田三十五県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

ゆめ半島千葉国体大会

夢と感動をありがとう

「教育立県ちば」をめざして!



9月県議会で登壇し、質問する西田三十五議員

歴史に培われた街、佐倉市選出の西田三十五(にし た・さん)県議。二期は行動派の若手リーダーとして、県政改革に大車輪の活躍を見せています。九月県議会では一般質問に登壇、ゆめ半島千葉国体、ゆめ半島千葉大会

(障害者スポーツ大会)のもてなしについて知事に質問しました。また、安心安全な街づくりへの期待を担って走り出した移動交通車への住民の反響を聞きました。西田議員の一般質問の質疑応答を特集します。

佐倉市特集 9月県議会一般質問

そこで伺いますが、会場に設けられる「ふれあい広場」の計画はどのようなものか。

この中では、内面的共感に根ざした道徳性を涵養するため、就学前から高等学校まで発達の段階に応じた内容について指針を示し、道徳教育を支援するための教材や指導資料を作成することが必要であるとの提言

第十回全国障害者スポーツ大会「ゆめ半島千葉大会」は、平成二十二年十月二十三日から十月二十五日の三日間で、障害のある人もない人も、競技を行う人も競技を支える人も、みんなが主役となり、おどろきの笑顔に出会えることを願って『ゆめ半島 みんなが主役 花咲く笑顔』をスローガンに開催されます。

西田議員 千葉県道徳教育推進委員会第一次提言に対する県教育委員会の見解はどうか。

千葉県らしい道徳教育推進

所者や県内の団体等によるステージでの演技・演奏、福祉車両や電動車椅子などの展示・体験、授産施設で作っている「クッキー」や「陶芸品の販売等」「落花生」や「焼きのり」など県の特産品の販売や観光資源の紹介など、障害に対する理解を深めていただくとともに、千葉の魅力随所に盛り込んだ内容にする予定です。

西田三十五県議プロフィール

経歴	
昭和39年10月	佐倉市生まれ
昭和63年 3月	拓殖大学政経学部卒業
平成 3年 4月	佐倉市議会初当選(3期連続当選) 文教福祉常任委員会委員長 経済環境常任委員会委員長
平成15年 4月	県議会議員初当選(2期連続当選)
現職	
県議会	文教常任委員会委員 議会運営委員会委員
自民党県連	広報本部副本部長 組織本部委員
ちば自民党	青年局長

●県政や佐倉市での身近なご相談、ご要望をお寄せ下さい。

西田三十五 県議事務所

〒285-0837 佐倉市王子台6-1-8
TEL 043-489-2312
FAX 043-489-2401

住民の期待担い

15台を15署に配備

移動交番車登場

西田議員 県警は、今年四月から十五台の移動交番車を十五の警察署に配備したが、警察と地域の橋渡しの役割をこの移動交番車に期待したい。

そこだろうかすが、現在までの移動交番車の活動に対する反響はどうか。

警察本部長 移動交番車は、本年四月一日から本格運用を開始したところでございますが、四月一日から七月末日までの間におきまして、移動交番の開設を千六百二十回、子どもの見守り活動を千二百三十九回、地域住民との合同パトロールを百四十五回、防犯・交通安全講話を五百七十回実施

施をしたほか、警察安全相談を五十一件、遺失・拾得届を百八件、被害届を十六件受理しているところであります。

これら移動交番の活動に対する地域住民の反響は大きく、「犯罪や交通事故の未然防止が期待できる」、「落とし物の届出や相談がしやすい」、「警察官を身近に感じられる」などの意見が寄せられているほか、「移動交番の開設場所を増やして欲しい」、「地域の安全のために移動交番の開設を続けて欲しい」、「移動交番車を増やして欲しい」など要望が寄せられるなど、移動交番車に対する県民の期待と関心

の高さが窺える状況にあります。

なお、国体におきましては、各会場には、県内外から多くの方の参集が予想されることから、移動交番の開設をいたします。今後とも、地域の実情に沿った活動を展開したいと考えております。

西田議員 九月補正予算案に盛り込まれた移動交番車十台の配備地域はどのようなになっているのか。

警察本部長 刑法犯認知件数や警察官一人当たりの負担状況などを考慮し、京葉・東葛地域の未配備署を中心に配備してまいりたいと考えております。



自席で資料を示しながら再質問を行なう西田三十五県議員

鴨川青年の家のカッター訓練 事故防止へ マニュアル改善

西田議員 六月に静岡県三ヶ日青年の家に宿泊していた豊橋市内の中学校が浜名湖で訓練中、二十人乗り手漕ぎボートが転覆し、女子生徒が死亡するという、痛ましい事故が発生した。

本県でも鴨川青年の家でカッター訓練が行なわれている。カッター体験を通して、協調性や集中力を養うことは青少年の健全育成にとつて重要であるが、一方で、何より安全に配慮することが求められる。

そこだろうかすが、鴨川青年の家におけるカッター

を活用した体験活動の安全対策はどうか。

教育長 県教育委員会では、今回の事故を教訓として、マニュアルの点検を行い、実施基準である最大風速の上限を十二時から十時に変更するとともに、今年度からカッターの指導員を二名から三名に増員することや、乗船名簿を作成することをマニュアルに明記し、遵守するよう徹底いたしました。教育庁職員による安全点検を実施するなど、更に事故防止に万全を期すことといたしました。

全学年そろった千葉中学校

運動部活発、学校に活気

西田議員 県立千葉中学校について、本年四月に中学校全学年が揃ったが、現在の千葉中学校の生徒の状況はどうか。

教育長 千葉中学校では、全学年の生徒が揃い、例えば、総合的な学習の時間のゼミでは、一年生から三年生までが一緒になって課題を追及し、その中で上級生がリードして話し合いを行うなど、意欲的な学習活動が展開されております。

このように、学校全体に活気が出てきており、系統化された六年間の一貫教育の中で、豊かな人間力を培い、揺るぎない学力を育むという教育方針に沿った教育活動が着実に進められているところとす。

西田議員 県立千葉中学校について、中学校棟の完成により、狭いといわれているグラウンドの問題も含

め、運動関係の施設にかかすすべての問題は解決できるのか。

教育長 千葉中学校の運動関係の施設については、設置準備段階から、検討を行ってきており、中学校棟の体育館と既にある高校の体育館やグラウンドなどを、安全面に十分配慮しながら、効率的に活用することで、体育の授業はもとより、運動部活動においても、大きな支障はないものと考えております。

県政をリード 文教のエキスパート

佐倉市特集・9月県議会一般質問

西田三十五県議



自ら危険性を体感する西田三十五県議員（舟戸大橋かけ替えについては特集号で）

西田議員 県立千葉中学校について、中学校棟の完成により、狭いといわれているグラウンドの問題も含

体育の授業や集会など、教育活動の利便性は格段に向上するものと考えております。